

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成29年度事業点検・評価調書

4- -6

4-
-6

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	危機管理体制の整備
節	安全対策の徹底		
事業(施策)名	6 危機管理対応マニュアルの作成	事業主体	佐渡市防災管財課
事業実施期間	H28～H30	関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡西警察署、佐渡東警察署、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市市民生活課、佐渡市消防本部
事業概要	<p>【事業目的】 危機管理対応マニュアルの整備により、来訪者の事故・疾病や災害発生時等不測の事態への対応を図る。</p> <p>【事業内容】 様々な事態を想定した危機管理対応マニュアルの整備とその適切な運用を図る。</p>		
⑳ 事業計画と実績	<p>【29年度計画】 「佐渡金銀山関連施設(佐渡金山、佐渡奉行所など)のマニュアル作成状況を把握する</p> <p>【29年度実績】 マニュアル作成状況を把握するため調査を実施した。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 実行力のある計画とするために、訓練等の実施が必要である。</p> <p>【今後の取組】 全ての施設で、危機管理マニュアルの作成を進め、訓練を実施するように働きかける</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 (a (b) ・ c)</p> <p>【事業実施の効果】 (a (b) ・ c)</p> <p>【総合評価】 (A (B) ・ C)</p> <p>施設ごとのマニュアル作成状況の把握について調査したためBとした。来年度は、計画最終年度にあたるため、施設に関しては、マニュアル作成を促す必要がある。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。